

2019 10/25 金

18:30→20:00
[開場 18:00]

会場 公立はこだて未来大学 講堂
(函館市亀田中野町116-2)

定員 200名(申込不要、当日先着順)
[参加費 無料]

講師

山田 胡瓜
漫画家

松原 仁
公立はこだて未来大学
複雑系知能学科 教授



©山田胡瓜(秋田書店)2016



近年の電子書籍の発展によりマンガが大きく変わろうとしています。そのような状況において、コミック工学はマンガを工学的見地から研究する新しい学問として萌芽しました。マンガは記号的なので実は工学的に扱うことは興味深いことなのです。このコミック工学研究会を本学で開催することに併せて、本特別講演会では、人工知能に関するマンガを数多く描いている山田胡瓜氏をゲストに迎えて、人工知能研究での第一人者である松原仁教授・副理事長との対談を行います。「もし超高度な人工知能が現実となった時、社会はどうなるのか？」を私達にわかりやすく伝えてくれる山田胡瓜氏と一緒にコミック工学の発展を考えていきたいと思ひます。

お問い合わせ 公立はこだて未来大学 事務局企画総務課
TEL:0138-34-6448(平日9:00~17:00)
※当日は撮影禁止となります。

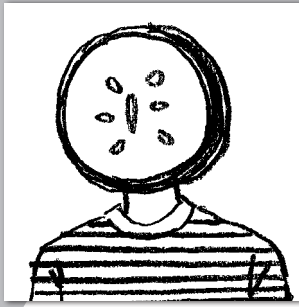
主催/公立はこだて未来大学
協賛/コミック工学研究会

「コミック工学」 マンガを創る 人工知能

公立はこだて未来大学 特別講演会



公立はこだて未来大学
FUTURE UNIVERSITY HAKODATE



やまだ きゅうり
山田 胡瓜

漫画家。2012年、「勉強ロック」でアフタヌーン四季大賞受賞。ニュースサイト「ITmedia」記者として活動した経験を基に、2013年から「ITmedia PC USER」にて「バイナリ畑でつかまえて」を連載。2015年11月から、「週刊少年チャンピオン」で近未来を舞台にヒューマノイドの病を治療する医師を主人公にした一話完結形式のSFコミック『AI(アイ)の遺電子』を連載し、文化庁メディア芸術祭マンガ部門で優秀賞を受賞。2019年に続編「AIの遺電子 RED QUEEN」が完結。



まつばら ひとし
松原 仁

公立はこだて未来大学教授および副理事長。工学博士。専門は人工知能、ゲーム情報学、ロボット工学。コンピュータ将棋やロボカップの日本の牽引者の一人。2012年よりAI小説家プロジェクト「きまぐれ人工知能プロジェクト 作家ですのよ」を立ち上げリーダーを務める。2014～2016年、第15代人工知能学会会長。著書に『鉄腕アトムは実現できるか?』(河出書房新社)、『わくわくロボット教室』(集英社)、『AIに心は宿るのか』(集英社インターナショナル新書)など多数。

同時開催

第2回コミック工学研究会

<https://sig-cc.org/>



主催：コミック工学研究会
参加費：有料(詳細は<https://sig-cc.org/>を御覧ください)

コミック工学研究会とはー

我々のコミュニティでは、コミックを中心としたモダンカルチャーコンテンツを工学的に利用するための学術的知見の蓄積と、コンテンツを介して分野を跨る異分野コミュニティ間の意見交流と連携の促進を目指して、コミックの文化資産としての可能性と世界規模での経済的な影響力を高めるための研究を行ってきました。コミックコンテンツは、絵と文字が相補的かつ協調的に利用されているクロスモーダルなコンテンツであるため、計算機によってコミックの内容を解釈したり、コミックを構成する要素を抽出したり、またそれらをコード化・構造化して蓄積するためには、各メディア処理技術やデータベース技術などが必要となります。さらに、これらの蓄積されたデータを活用するためには、システムやアルゴリズムのみならず、人がコミックのエンタテインメントを享受する上でのニーズやインタラクションの分析といった認知的側面を考慮する必要があります。

様々な研究領域にまたがって、コミックコンテンツを中心に据えて、情報交換のみならずデータやコーパスの共有、技術連携を通じてコミックコンテンツの新たな活用法の確立に貢献することが、我々の活動目的です。

このような活動理念のもと、このたび、電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ第2種研究会としてコミック工学研究会を設立いたしました。

文化的・経済的なニーズが高まるコミックの潜在的な魅力と可能性を引き出すために、研究会として本格的にスタートしたコミック工学にご注目、ご協力をお願い申し上げます。